

新年のご挨拶

代表 森屋 治三



森屋 治三

あけまして
おめでとごいります

昨年来コロナ問題により慌ただしい昨今ですが、皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。平素は当会業務にご協力を賜り心からお礼申し上げます。本年も宜しくお願ひ申し上げます。

報道によれば、昨年一月、国内初めての新型コロナウイルス感染者が見つかり、緊急事態宣言などあらゆる感染防御対策が取られてきました。しかし特效薬など未だ決め手のない厳しい状態が続いています。新日美にとっても対岸の火

事とは言えず、昨年は止む無くメイン事業の新日美展、京都巡回展を中止せざるを得ませんでした。今後も日々変わる状況に関心をもつて対処していかねければと思います。さて、今秋九月には第四五回記念新日美展が開催されます。仮に、現在のようなコロナ問題の状況が続けば、搬入出、展示及び諸行事など、今までと異なる対応を余儀なくされるのは必定であり、特に、ソーシャルディスタンスの保持など、感染防止策には心して準備しておかなければなりません。私共は、美術作家の集まりです。心血を注ぎ制作に取り組んだ作品を、東京都美術館で展示し、鑑賞者の心を動かす、制作の思いが伝わる、仲間と語り合い腕をみがく。これらのことが、新日美に集い活動する意義でもあると考えます。今後とも皆様のご協力、ご支



173号

新日本美術協会

事務局

横浜市港南区港南台
1-39-5
鈴木忠義方
TEL045-832-0504

編集委員

石原 修
早田美智子
篠 光定
湯澤朱美

原稿常時募集

次号令和3年5月予定

援を仰ぎながら、この難局を乗り切つていきたいと思ひます。最後に、皆様の益々のご活躍とご多幸を祈念し、また、新日美のさらなる躍進を期待して年初の挨拶とします。

コロナ禍の昨年一年間

事務局長 鈴木 忠義



鈴木 忠義

新年明けまして
おめでとごいります

事務局の昨年一年間の現況についてお知らせ申し上げます。

昨年は年初三月よりコロナウイルス第一波の蔓延に始まり一二月第三波の到来と正しくコロナ禍の一年間で、四月以降の委員会中止、小品展中止、定期総会より臨時総会への変更、第四四回展中止と全く活動の出来ない一年であった。本展中止の代替として当会ホームページ上での会員ネット展を

実施して、辛うじて会員各位の作品制作のモチベーション維持が図れたのではないかと思う次第である。一方、東京都美術館の令和四年以降、五年間の会場使用に関わる一次審査申請(四月一五日期限)二次審査申請(七月三一日期限)も無事終わり、一二月一七日に代表と私が会期抽選に行つて来た。

また一昨年より文化庁の後援、大臣賞の申請に二か月かかる様になつたので、一二月一〇日に申請書を提出し、衆参両院議長、東京都、都議会には、一月五日に申請書提出した所である。

まだまだコロナウイルス収束の気配は一向に見えない。会員各位の一層のご自愛とコロナ禍での作品制作のモチベーション維持を切に祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。

私の一枚



名誉会員 鳥沢 むつみ

題名「古い花瓶」水彩画 P10号

私と共に生きてきた大好きな昭和の素朴な花瓶です。